



棟病又トオ

This is "remi&ako@yakim_byohtoh" fanbook
Presented by TANA@Garyuh_Chitai in 2006_winter
for Adult Only...

オトメ病棟

彼女は彼と別れたらしい。

可笑的でしょ、と泣きながら彼女は言った。

ううん、可笑しくなんて無いわよ。

その言葉にあっさり涙を止めると、彼女は恨み言を並べる。
あんな男だとは思わなかった。あんなヤツだとは思わなかった。
騙された。裏切られた。ホントがっかりだわ。最低。

なるほどなるほど。そうだねえ。
とりあえず相槌を打つ私。

彼の行為は確かに普通の人には許容し難いだろう。
だが、彼女は騙されも、裏切られも、失望させられもしていないのではないか。
あなたは、ただ、彼を知らなかっただけ。

3ヶ月前に知りあってから、共にいい男いい女のプレゼンを繰り返すだけの毎日。
何故そんな中で全てを知ったことになれるのか。
彼だってあんたが誰彼構わず寝取っては恋多き女を気取ってることを知らないでしょうに。
敵多き女だということに自分自身も気付いていないでしょうに。

「ねえ、何で私は男運がないのかな」

それは、お前が怠慢なだけだよ。
奪うことしか知らず維持する努力をせず何も与えず探らず疑わず耐えもしない。
10を知り100を得た気になり、1を知り1000を捨てる。

あの人のことを何も知らずに好きになっただけに。
すれ違い様に発情したやつが何を言う。可笑しくなんて無い。爆笑だよ。

——とは言えないけども。

とりあえず、一目惚れなんてそんなものよ とだけ言っておいた。

可彩くる「空飛べ、絨毯」より



Contents

p05_オトメ病棟

p33_作品解説

p34_おまけ SS～亜子の日記

p36_あとがき・奥付



ズキッ!
ズキッ!

どうじゃ主任さん
ケツ穴とマンコ
ぶちこまれて最高じゃろ

はい...っ!
き...
気持ちいい...っ!

今日もこのエロチンポ
たっぷり射精させて
やるからのう

あ あひいっ!
ありがとうございます...っ
ご愛用ますうっ

ほうれ
ザーメン浣腸じゃ
うれしかろう?

んあああああつ!
あつ...いいいっ!
チンポ熱い...っ!

らめええっ!
イク...っ
イクううっ!

まだまだ
ワシらが満足
するまで我慢せい!

しかし比良坂先生は
天才じゃなあ

あんなに反抗的だった
主任さんがこんなに
従順になりおった

そうよ…当然だわ
私は奉仕看護婦…
従順な肉奴隷

絶対に反抗なんか
しないわ

ヒヤハハ
見てみる
このアホ面

ズキッ
ズキッ
ズキッ

ギョッ
ギョッ

ズキッ
ズキッ
ズキッ

何でも
いうことをきくし
どんな卑猥な
ことだって……

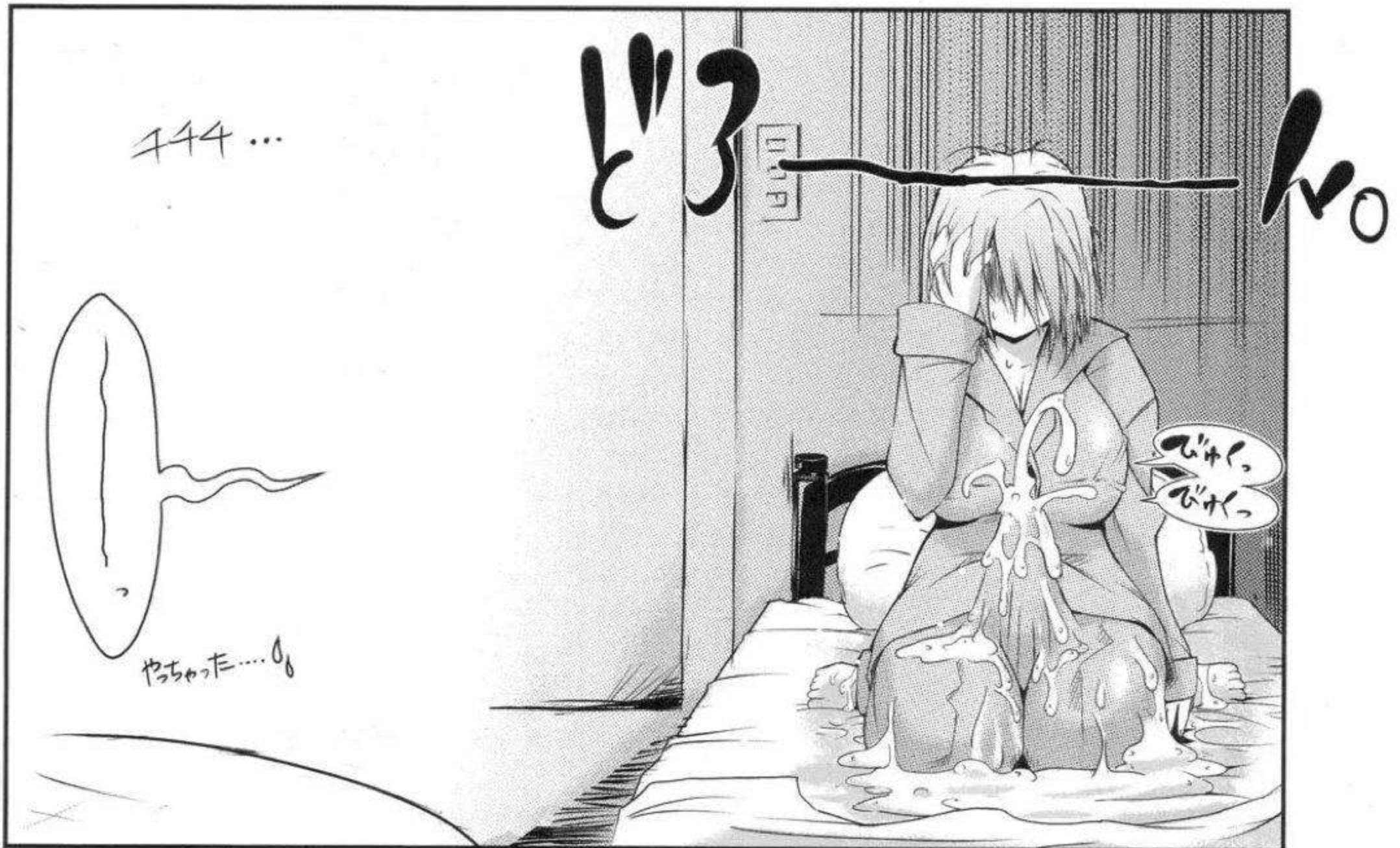
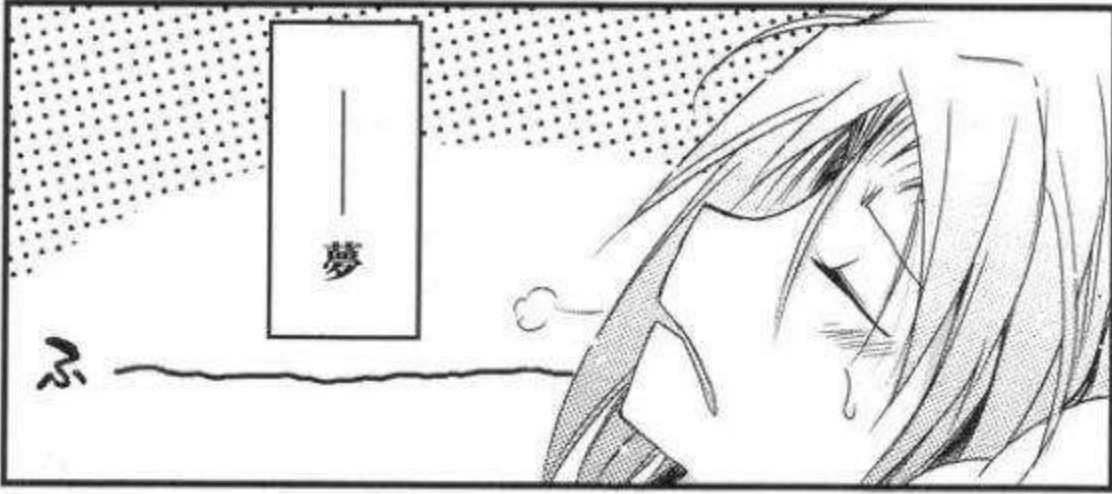
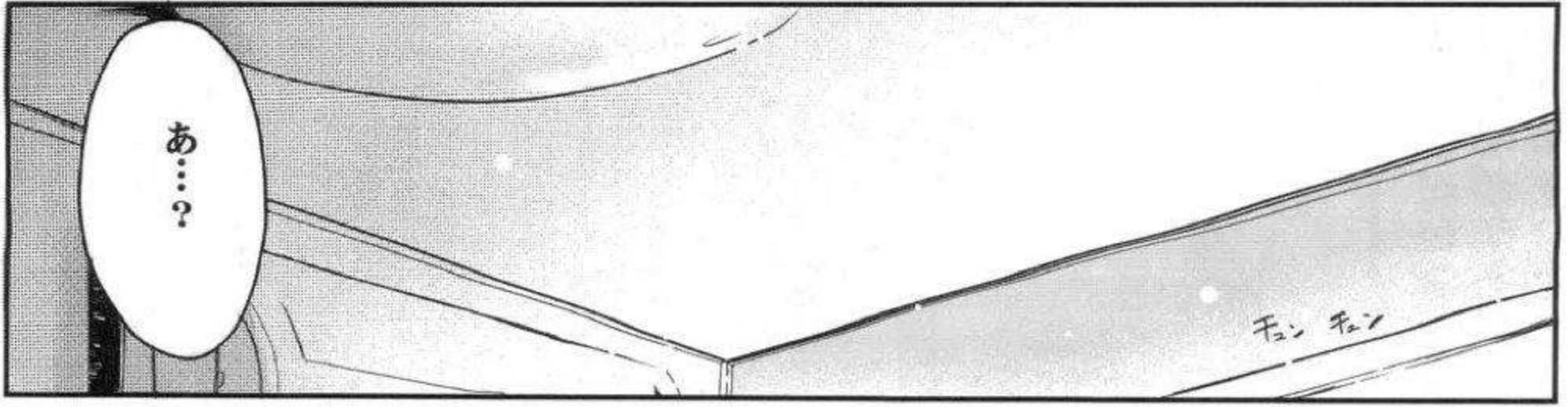
だから

だから

きひやあああああ！
チンポ チンポの皮に
だ 出されてるうううっ！

あああつ！ 熱い！
あつ…いあああ！

ズキッ
ズキッ
ズキッ





主任さーん

……二度寝しちやって
たんだ……

セールス
かしら……

あゝ
よーろはと。



……何の音……
チャイム……？



おじまはーす。

朝まで夜勤でしたので
今日はあがりです

それに今夜の
奉仕も兎玉さんに
引継ぎしました

なんでも いつも子供
ばかり担当してるし
比良坂先生は七瀬さんが
独占してるので



どうして……
し……仕事は？

サ
キ
ヤ

こんにちは♪
お見舞いに来ました



このところ
欲求不満らしくて。

あの眼もずいぶん
変わったわね……

……藤沢さん



簡単ですけど
何か美味しいもの
作りますから

とりあえず
キッチンお借りしますね





うわ…すごい…
すごく美味しそう

ふふ
ありがとうございます



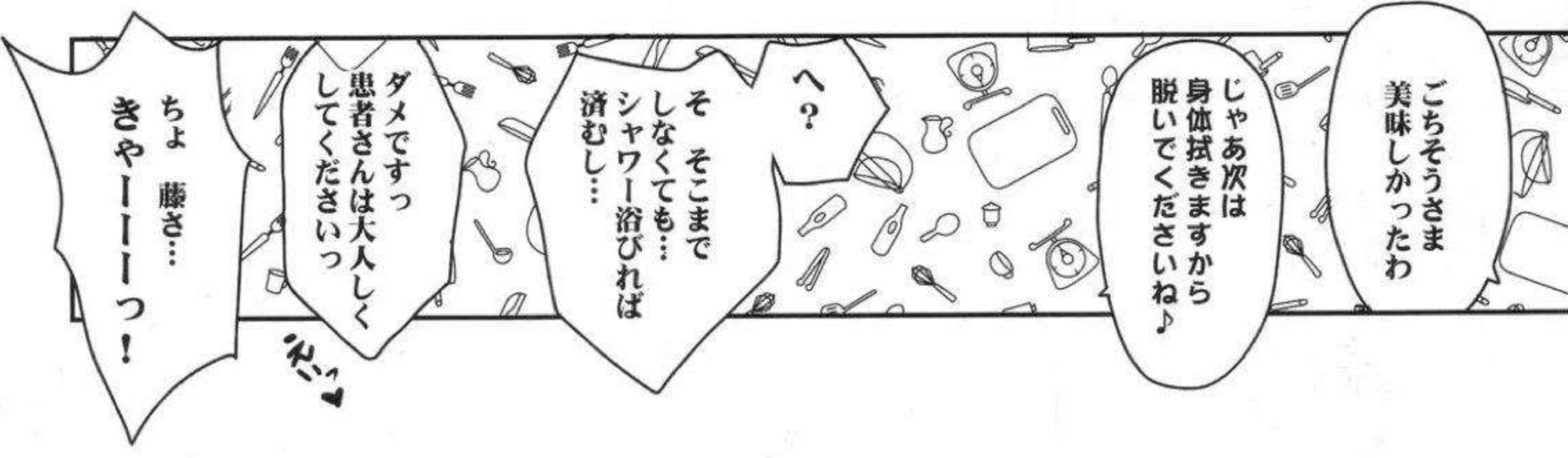
藤沢さんって
こんなキャラ
だったかしら？

え えーと
そういうのは
ちよつと…



はい

あーん。



ごちそうさま
美味しかったわ

じゃあ次は
身体拭きますから
脱いでくださいね♪

へ？

そ そこまで
しなくても…
シャワー浴びれば
済むし…

ダメですっ
患者さんは大人しく
してくださいっ

ちよ 藤さ…
きやー！



ふふ…
仮病だったんですか

え ええ
ごめんなさいね…

いえ かえって
安心しました…

最近はその人たちが
主任さんに対しては
本当に酷くて…

今日は本当に何か
あったんじゃないかって…
ずっと心配でした

汚れた部屋に
壊れた人形みたいになった
主任さんがいました

目の前にいる私に
気がつかないほどで

ありがとう
でも大丈夫よ
確かに熾烈だけど…

昨日だって 結局
大声で「気持ちいい」
って何度も何度も
言ってたし…

言ってませんよ

やっぱり…
覚えてないんですね

藤沢さん…？

昨晚…私 比良坂先生に
あの部屋の片付けをするように
命じられました

「礼美が壊れて動けないから
なんとかしとけ」とも

ただ 消え入りそうな声で
何度も何度も

助けて…

ごめんなさい…

助けて…

なんでも…
します…

いたい…

助けて…ください…



何が…
「大丈夫」ですか

何が「気持ちいい」
なんですか！

記憶が歪んじゃうくらい
ポロポロなのに！



私が声をかけても
身体を洗っていても
ずっと泣いていたくせに！

ここへどうやって
帰ったのかも覚えて
ないくせに！





一緒に犯されている
ことすら…幸せでした

むしろ初めは同じ
奉仕看護婦として選ばれた
ことが嬉しかった



私…臆病で…
比良坂先生に逆らう
こと…できません…

主任さんを助けることも
出来ませんでした



でも…私は…
無力で…

ごめんなさい…
主任さん…私…
う…あああ…っ

……



でも…でも…っ
この病院に入ってから
ずっと憧れていた人が

大好きな主任さんが
あんな風に壊されるのを
見ていられなくて…っ



ありがとう…
藤沢さん

でも ちよっと
困っちゃうな
そういう告白……



ナースが患者を
泣かせちゃ
ダメじゃない

…お願い
藤沢さん…

主任…さん…
私で…いいんですか

身体が素直に
なっている

無意識のうちに
抑え込んでいた身体の
痛みや苦しみが
じわじわと蘇ってくる

ええ
あなたが…いいえ
垂子でないとダメなの

それと同時に
湧き上がる大きな高揚と
果てしない安堵感

はい…主任さ…
いえ…礼美さん…

私は今
初めて癒されている
愛されている



又キュ
亜子のほっぺた
柔らかくて…
あつ…あぁ…

素敵…
気持ち…いい…

よかった…
私も気持ちいいです…

ずっとこうしたかった…
憧れてたんです

礼美さんのチンポの
ニオイ…チンカスの味…
全部欲しかった

こうしてチンポの
ドキドキを…直接
感じてみたかったんです…



んぐっ…
んふっ…
んふっ…
んふっ…



はぁ…
ふぁぁ…ん…っ



あんっ…チンポ汁
すごく濃い…



は…はひっ!
あ…ふああつ!

こ、これ…があ…
ホントの…
チンポ射精い…っ

きもど…
いいのお…っ

ほろっ。

あああつ!
ごめんなさい垂子!

つっついで出しすぎちゃって!
ご、ゴメンね 大丈夫?

あああ

あはい…
大丈夫です

でも
涙出て…

オロ
オロ



あ…あはっ
すみません 私また
泣いちゃって…

ホツとしたら
つい…

もし射精して
もらえなかったら…

私 あのあたちと同じに
なっちゃうのかなって
すこく…不安だったから…

ドキ

亜子…私だって不安だったのよ

え…

あなたで射精できなかつたら…ほかに誰がいるっていうの？

もう一生オナニーでしかイケない身体になるところだったんだから

あ…礼美さん…

んふ…やっぱりいつものと違うわ

セズリザーメンより濃くて臭くて…んっんく…美味しい…んっ…

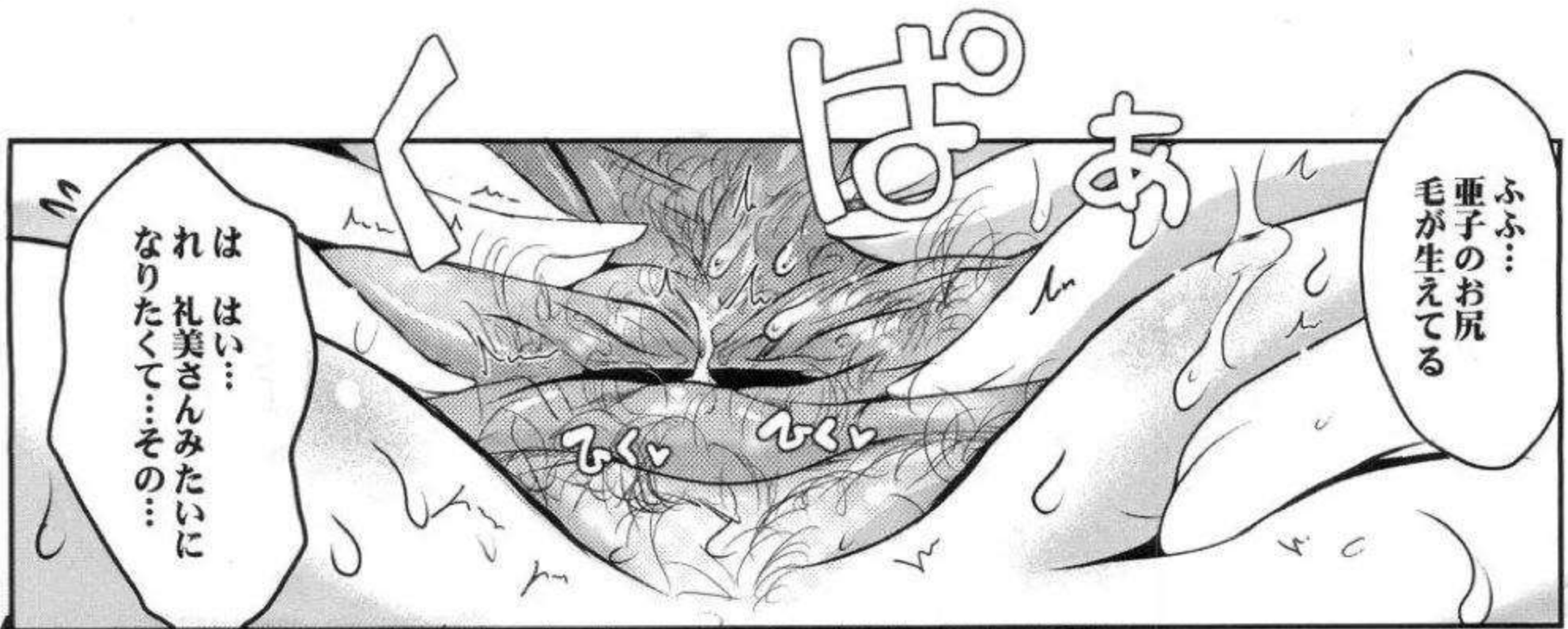
亜子の身体が気持ちよかつたからすこく優しくかつたからこんなに出たのよ…

ああ…礼美さ…あん…っ

ん

亜子…ありがとう
あなたが初めての人でよかつたわ

私も…あなたが好き
愛してるわ 亜子



ふふ…
亜子のお尻
毛が生えてる

はい…
れ礼美さんみたいに
なりたくて…その…



んふ…可愛い♪
じゃあ私がいつも言わされてる
『おねだり』…言える？

あ…

ああの…ケツ毛まみれの
変態ナースの肛門に…
チンポ…入れてください

それから？

お尻…ケツ穴の中の
ウ…ウンチをぐちよぐちよに
犯して…はあ…ザーメン…
ザーメン？

ち…チンポ精液を…私の…
藤沢亜子の淫乱なクソ穴
肉便器に…ぶちまけて
ください…ああ…あ…

はい…

は…早く…入れてください
私のケツ穴は礼美さんの
チンポ専用です…ですから…
ですから早くう…っ

ふふ 合格♪

めちゅ…っ

私の童貞…亜子の
ケツ穴にあげるわね

はい…嬉しい…
幸せ…しあわせですう…っ！

あ…んっ！
気持ちいい…柔らかくて…
熱くて…ちんぽ…ちんぽ
とろけそう…あああ…っ！

私も…っ！ あ ひい！
あああ…こんなに…感じるの
は 初めてれすう…っ！

ああ…亜子！ 亜子っ！
分かる？ 私…犯してる！
あなたの肛門を…ケツ穴を！
チンポであなたを犯してるうっ！

はあああ…っ！
礼美さん…突いて…
犯してくださいっ！

わわ…わたく…しの…
ああっ！ け…ケツ穴便器で
いっぱい…チンポに
ご奉仕させてくらさいっ！

好きよ！ 好き…大好きっ！
亜子のケツ穴愛してるっ！
あああ…感じるの！

精液…もう我慢できない！
出すわ！ いっぱい出すの！
チンポ汁ひり出していいっ？

ねえ！ チンポ流腸で
亜子のウンチ
犯していいっ？

ズキッ！ズキッ！

はヒ…っ！
出して…く、くださいっ！
いっぱい！ いっぱい！
全部わたくしのなか二い！

ちゅ

女中

おまんこ

おまんこ

おまんこ

ああおあつ！
出てるううあああつ！
礼美さんのちんぽ汁があ…っ

う、うんこ射精ええ！
ぐぢよぐぢよって…
ぐぢよぐぢよグぢよってっ
混ざってルううううっ！

ふるふるっ♡

あつ！ んあああつ！
礼美さ…あああつ！

はあ…はあ…
亜子…亜子お…
欲しい…欲しいの…

私のチンポに
からみついでる
コレ…

亜子のケツ汁…
私にも…私にもおつ！

あああああつ！
らめえええつ！ 礼美さ…
あああつ！ 抜いたら…
チンポ抜いたら…っ！

で…出ヒヤうううっ！
あああああつ！ らめええつ！
ウンコが出ちやううううっ！
ぞくぞくぞくぞく

ふるふるふるふる

礼美さん…あはああつ！
吸ってるう…礼美さんが…
私の…ウンチ飲んでるううっ！

んまが

んまが

んまが

んまが

んまが

んまが

んまが

あつ！んおああつ！
らめええええつ！
そんなに強く吸ったら
また…イクううっ！

んまが

いつしか
すっかり
陽は落ちていた

しかし
服を切つてあふれ出た
愛欲はとどまることを
知らない

夜が深まるにつれ
私たちの狂気に彩られた
愛も深みを増していく



まともな思考も
理性も羞恥すらも
霞んでいく中

私はようやく
一つの答えを
見つけていた



亜子…いい…？

はい…全部…
私にください…

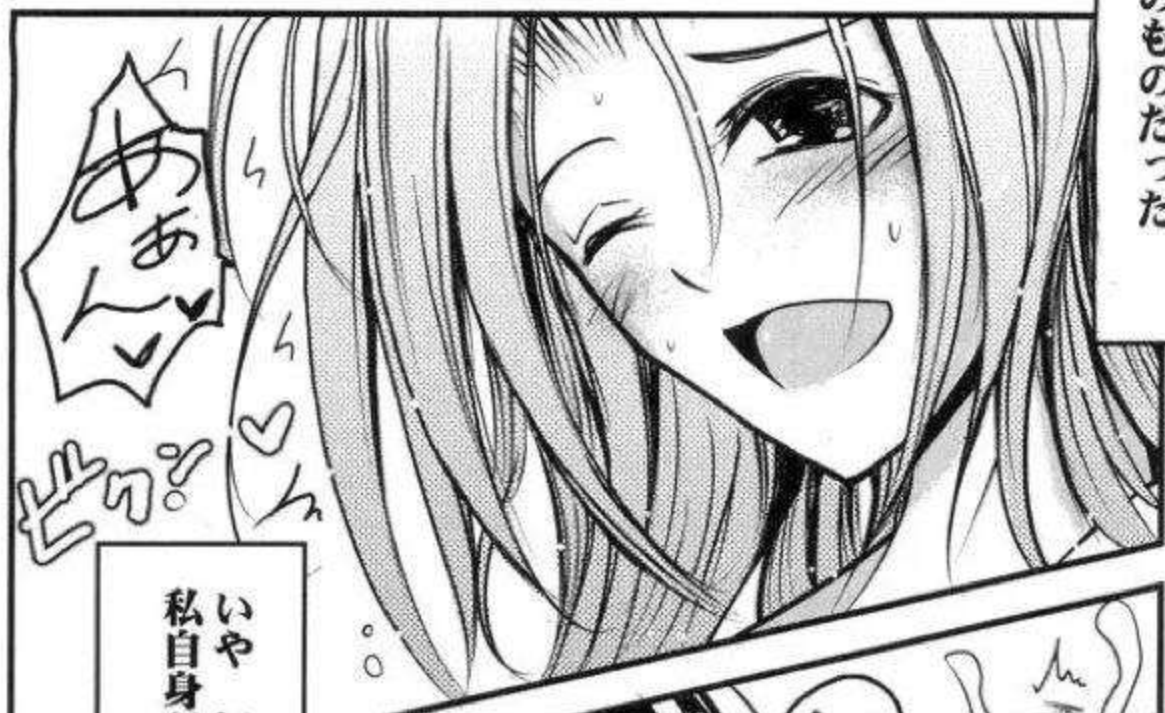
んああああつ！
うんこ…いいいいつ！
亜子…っ！ 亜子おおつ！

従順でなかったのは
この異形の肉なんかじゃ
なかった

ドホドホドホドホッ

私のペニスは
果てなく垂子を求める

忌まわしき肉塊は
いまや完全に私
そのものだった



いや 初めからコレは
私自身だったのだから

『新城礼美』に従順で
なかったのは私の
心のほうだった




礼美さん…
お願いです…
おまんこ…して…
ください…

礼美さんの精子で
子宮の奥まで犯して…
孕ませて…下さい…

あの男たちが与える恐怖を
捻じ曲げて快楽として
受け入れようとしていた

でも身体はそんな
弱い心に それは違うと
訴えていたのだ

愛すべき私の分身は
『私』よりも『私』
だった



そして今 それを
気付かせてくれた大切な人と
私自身で繋がっている

こんな
夢のような
幸せがあるだろうか

うん…

赤ちゃん
つくろっか…

もう悪夢の夜はいらない

あ 七瀬さん？
ええ…こめんなさいね
今日もお休みを…

絶対安静なんですって
ベッドから出しても
くれないのよ



ええ 治ったら
奉仕看護婦の仕事は
しつかりやるわ

あの人たちが
「もう許して」って
言うくらい... たっぶりね

そうね...
でも心配しないで



今はただ

私にはとっても頼もしい
ナースがいるから

二人だけの朝が
あればいい

作品を解説

タイトルがオトメ病棟なのに思っきり自宅が舞台になってますね。タイトルはなんとなく語呂で決めました。医療プレイを期待された方々には謹んでお詫び申し上げます。すみません。

えー。昔懐かしい夜勤病棟です。いやー、第一作目がPCで発売になってからもう7年くらい経つんですね。発売当時は店頭でハッケ絵に惹かれて買ったわけですが、内容があんなにハードでコアでストライクゾーンと真ん中だとは思いませんでした。

その後はアニメや続編のゲームなどの展開が現在まで続き、果ては風俗店まで出来るという大ヒットタイトルになりました。今回の漫画のキャラはシリーズ中でかなり思い入れのある亜子と礼美です。本編中は全く違うルートなのでハーレムエンドにならない限り一緒に登場することなんか無いんですが、そこはバラレルということで。あと性格がオリジナルと変わって明るめになってるのはうちのサークルの仕様です。ごめんなさい。

元制作関係者の知人に聞いたんですが、第一作が発売になった頃、メーカーのホームページで人気投票があって、結果は亜子がダントツだったそうです。てっきり恋が一番かと思ったんですが意外でした。礼美は三番人気だったそうで。やはり気難しいキャラということと、医療ミスを隠そうとするとこころが影響したのかもしれない。声優さんは素晴らしかったんですが。

今まで礼美で作品を描けなかったのも実は、医療ミスに関することが僕の中でも引つがっていたからです。犯罪ですから。これを無しにしてハッピーエンドになっていいものかどうかが…。

結局今回はその点には触れませんでした。というのも今回の漫画は、僕の中の設定では二人の物語の序章でしかないからです。この後比良坂はもちろん、他のヒロインや藤沢家まで巻き込んでシリアスな展開になっていく…というプロットを書いたのですが、流石に長くなりすぎる漫画では難しいのでいつか小説で書けたらいいなー、と思ってます。(アニメでは警察にバシって逮捕されてましたね……後味悪すぎて辛かったです……)

とまあ、オリジナル作品の設定を知っていないとちょっと分かりづらい上に、オリジナルを勝手にアレンジしているという困った作品ですが楽しんでいただけましたら幸いです。

今後もMink様、ディスクバリー様、むらかみてるあき様の「夜勤病棟シリーズ」の新作リリースを心待ちにしております。僕も地味にブッシュしていきたい所存です。もしオリジナル未見で今作品をきっかけに興味を持ってくれた人がいたら嬉しいですね。

感想などありましたらWebやメールにてとどしとお寄せくださいませ。よろしくお願ひします。





今日は礼美さんがいつも通っているというスポーツジムと一緒に来ました。

ここにはあつぱい礼美さんのつたかIファンポは有名だったらしく、礼美さんが水着でプールサイドに現れると会員のみなさんが集まってきます。あつぱい人気。ちょっと嫉妬してしまうけど、こんな素敵な人が私の恋人だということになんとか誇らしく感じます。

でもね、みなさん。今日の礼美さんはいつもと違ってあつぱい。ほら、見えませんか？ あんなに大きなキンタマがぶら下がっているでしょう。私はいっぱい射精するためにまた改造してもらったんです。それに最近はお手入れしなくなったんです。ほら、礼美さん、みなさんに見てもらいましょう？ 嗅いでもらいましょう？ 汗とファンポとウンチのニオイの染みこんだ身体を…。ああ…礼美さん、プールサイドを歩きながらあつぱい発情してる…。あつぱい綺麗です…。もっと…もっと見せてください…。ウンチとファンポ汁垂れ流しながらイッてる顔…。私も…私ももうダメ…。もう我慢できません…。



おおおっ
おおおっ

おっおっ

ズ
ズ

ズ
ズ

グ
グ

ズ
ズ

ズ
ズ

おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ

おっ

いつか私たちの二オイで室内は満たされ、会員の皆さんもぞらじゅうでオナニーしたいセックスし始めました。プールサイドは数十人の男女が垂れ流す精液や愛液、糞便がひろがり、建物の中には喘ぎ声と嬌声が響いています。

そんな中で私たちもごく自然に抱き合い、繋がっていました。あんなに射精していたのに礼美さんのチンポは私のおまんこに入った途端に大量のキントマ汁をぶちまけます。赤ちゃんが溺れちゃうんじゃないかと思うくらい。でも、えっちなチンポはまだ勃起したまま、私の肉穴にギュッギュッと締め付けられたいとあられたい愛撫される度に嬉しそうに跳ね上がり、とめどもなく精子たっぷりのキントマミルクを飲ませてくれて、その快感に私も嬉しくなって何度もイってしまいました。

気付けば私たちの周囲を会員の方々が取り囲み、熱っほい瞳で見つめてくれていました。不思議だね、奉仕看護婦の時はあんなに怖かったのに、今ではみなさんがとても愛しい。そんな私の気持ちも礼美さんにも伝わっていたようで、私たちは口をそろえて「精液をかけて！ おしっこ飲ませて！ もっと、もっと私たちのセックスを…フタナチンポをポテ腹を、ケツ穴も腋毛もおまんこも精液もうんこもだらしないうケベ顔も…全部見て！ 見て！ 見てっ！」と叫びながらイキ狂っていたのです。



結局、私も会員になってたまに通うことになりました。でも、礼美さんはちょっと困惑していたようです。「ゆっくりと水の中で浮きたい、動きたい、泳ぎたい、あるのが妊婦の身体にはいいって聞いていたから誘ってみたんだけど、泳ぐどころかいつも以上にハードなセックスになってしまって…ごめんなさいね」

もうかりばっかり。えっちな気が無いならポディーペイントなんてあるはずないじゃないですか。病院ではマジメで厳しい礼美さんは、こういうかりがたっても下手なんでしょう。そこが可愛いところですけど、他の誰も知らない、ちょっとカリッ悪い礼美さんが私は大好きです。

「でも、私が勤務している時には、あまり行かないでね。その…あ、あんなところで産気づいたら困るし…」
あ、また目が泳いでる♪ 分かってますよ。礼美さん以外の人とセックスしに行きたいしません。それに…
「この子を産む時は、私が一番信頼している産婦人科の看護婦さんをお願いすることに決めてますから」
「あ……」
「だから礼美さんも私から離れないで下さいね♪」

あとがき

正直、間に合うとは思いませんでした……。いやあ完成してよかったあ。
ネタを選ぶのに迷って時間を食ったのにプロットを作るのにも時間がかかってしまって。今回は大晦日開催で例年より少しだけ時間があったものの、商業のお仕事も平行しているとあっという間に締切り直前。

その時間の無さを言い訳にするつもりは無いのですが…いやはやホントにキャラが似ない！ 似ないならまだしも1Pごと、1コマごとに絵柄が変わるというダイナミズム。読者の皆様、脳内補完をよろしく願います。ちなみに↓のカットは表紙案として描いていたものなのですが、この絵柄で漫画描いたら全然エロく無さそうで結局いつものアヘ顔な絵柄になっちゃいました。髪の毛の感じはこのカットが一番気に入ってるんですけどねー。

さて、来年もまた商業のお仕事を色々やっていくと思いますが、おそらく漫画がメインになるかと思います。今回の同人誌が小説ではなく漫画になったのも、漫画制作のスキルに慣れておく訓練もかねていたためです。でも性格的に天邪鬼ですので、次の同人誌はまた小説になるかもしれませんし、全く違う体裁になっているかもしれません。どうぞお楽しみに！

今回もみなさんの感想を心からお待ちしています。ストーリーや絵のことはもちろんですが、体裁的なところで気になったポイントなどありましたらコメントをお寄せいただくと助かります。まだまだ勉強中の身ですので、参考にさせていただきたいと思っています。

最後に、今年は米沢氏をはじめ作家さん、声優さん、役者さんが次々と亡くなった悲しい年でした。歳を取ればその分、自分より年上の人たちの訃報を耳にすることがが多くなるのは当然なのですが、やはりこれだけ続くと「なんでだよ…」と、やるせない気持ちになります。

改めて故人の方々のご冥福をお祈りする一方で、自分自身、家族や友人、そしてこれを読んでくださっている読者の皆様が、来年も健康で過ごせることを祈念しています。健康第一って本当です。そして今度は夏コミで元気にお会いしましょう。

本年はありがとうございました。
来年以降も、どうぞよろしくお願いいたします。

2006/12/31 我流痴帯 TANA

【奥付】

発行：我流痴帯
著者：TANA
2006年12月31日発行
e-mail：garyuh@tana00.sakura.ne.jp
URL：http://tana00.sakura.ne.jp/
印刷：しまや出版

※18歳未満の方の購読・閲覧を禁じます。
※この本の内容を無断で転載・複製・WEB等で配布することは厳禁です。



オトメ病棟

我流痴帯

<http://tana00.sakura.ne.jp>

2006_Winter

